

エイブルアート・オンステージ 『プロジェクトレポート2007』の発行について

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、2004年7月から社会貢献事業としてNPO「エイブル・アート・ジャパン」（会長 嶋本 昭三）とともに「エイブルアート・オンステージ」を実施しており、今年で4年目となります。

当事業は、障害のある人たちに演劇、ダンス、音楽等の舞台芸術の分野で自らを表現する機会を提供すると同時に、プロの舞台人やアーティストとのコラボレーションを通して、これまでに見たことのない表現や作品づくりに挑戦、新しい舞台表現の可能性を発見しようというものです。

今般、2004年7月から2007年3月までの2年9ヶ月間の活動内容をまとめたエイブルアート・オンステージ「プロジェクトレポート2007」を発行しました。レポートでは、全参加グループの活動紹介や、特徴的な作品の特集、作品づくりに関わったプロのアーティストのインタビュー等を掲載しています。

1. エイブルアート・オンステージ「プロジェクトレポート2007」の内容

- (1) 平田オリザ氏（劇作家／演出家）、野村誠氏（作曲家）の巻頭メッセージ
エイブルアート・オンステージ実行委員である平田、野村両氏がエイブルアート・オンステージの可能性について、社会面や芸術面の観点から情報発信しています。
- (2) これまでの支援先全グループの一覧
エイブルアート・オンステージ活動支援プログラムの対象となった全21グループの紹介（グループ名、作品名、活動地域、作品概要）を行なっています。
- (3) 特徴的な作品（公演）を紹介
上記グループのなかから、4作品（公演）を取り上げて、作品の芸術性や作品づくりのプロセスにフォーカスをあてて、特集記事を掲載しています。
- (4) 作品（公演）作りに関わったプロの舞台人やアーティストへのインタビュー
羊屋白玉氏（劇作家／演出家／俳優）、大友良英氏（ターンテーブル奏者／ギタリスト／作曲家）、佐久間新氏（ジャワ舞踏家）が、障害者との作品づくりや、作品づくりを通じての自身の芸術活動への影響について語っています。

2. 「プロジェクトレポート2007」を無償頒布

エイブルアート・オンステージ「プロジェクトレポート2007」を無償で頒布します。ご希望の方は、エイブル・アート・ジャパン事務局までご連絡ください。同事務局より直接お送りします。

エイブル・アート・ジャパン事務局（担当 太田）

電話：03-3364-2140 FAX：03-3364-5602

e-mail：office@ableart.org

以上